

## 2019年度の年間の活動

自治会として、  
まちなみや桜並木の保全など、地域全体で課題を共有する活動を進める。  
～モットーは地域で顔の見える関係づくり～

### 1. 年度の桜自治会活動総括

永楽荘桜自治会は自らまちのルールづくりを課題として発足した経緯があり、住民が主体的に参加するシステムづくりを目指している。本年度は老朽桜並木の植え替え計画などを重点にまちづくりを進めていくうえで、以下の3点を中心にまちづくりに取り組んだ。また、毎年の取り組みを繰り返すだけでは事業のマンネリ化を招くため、時代の要請にあったまちづくりのルール化に向けた学習活動にも取り組んだ。

#### 1) 地域全体で問題意識を共有する手法の検討

環境委員会の「景観形成ガイドライン」を実効性あるものにするため、自治会が主体的に取り組む

- (1) 学習会等を通じ自治会内で景観意識の醸成
- (2) 持続可能な制度とするため継続的な内容項目の再点検（地区計画等の随時の見直し）

#### 2) 開発事業者を巻き込んだまちづくり協働活動の検討・構築

- (1) 建築確認申請事前協議制導入に向けての検討
- (2) 自治会内に顕在化し始めた空き家対策の検討
- (3) 開発事業者による桜並木の植樹推進

#### 3) ガイドライン実現に向けた具体的な取り組み（自治会員への周知啓発）

- (1) 桜並木の管理
  - ①腐朽老木管理、②桜の植え替え、③開発地での桜の植樹、④落ち葉一斉清掃、⑤桜伐採ルールの確認
- (2) 緑について
  - ①住宅一軒1本のシンボルツリー（高木植樹）、②緑化率10%以上の確保、③花いっぱい運動
- (3) 擁壁
  - ①圧迫感の逓減効果策の検討（敷地の擁壁後退と植栽帯確保や段差の導入など）
- (4) 交通問題

- ①抜け道通過交通量の低減・走行速度逓減措置、②駐車違反对策  
(5) 環境への配慮  
①戸に1台以上の駐車場の確保、②立体駐車場と駐車場屋上構造(庭園構造)の自粛、③洗濯物や布団干しの目隠し化、④広告物の禁止

### 2019年度自治会活動項目別一覧

項目	活動内容
広報活動	ホームページの更新、自治会活動広報紙(年度版)の配布、ニュースレターの発行、顕彰掲示板のリニューアル化
まちづくり活動	住まいのまちなみ委員会の継続的運用、医療カフェ、まちづくり講座、隣接自治会との連携(地区計画)、会館開設10周年記念準備委員会、建築確認申請事前協議制の研究、自治会活性化活動、アーカイブス編集委員会の検討
桜並木の保全	腐朽桜の伐採協議、さくら植え替え協定案の協議、桜並木の落ち葉一斉清掃(秋季月間事業)
環境・清掃活動	環境委員会による環境保全活動、野畑地区春・秋地域清掃、第1・第2公園アダプト清掃、花いっぱい運動、再生資源集団回収、ペットボトル受付設置、犬ふん防止チョーク作戦、フラワーロード作戦
見守り活動	高齢者ふれあい昼食会、自主防災訓練、福祉便利屋さん事業、青少年健全育成見守り(夏休み、春・秋春日神社大祭)、空き家対策、敬老の集い(校区福祉)、自主防災避難訓練、パワーアップ体操、ヨガクラブ、まちなかうオーク(ワンワンパトロール)、歳末警戒
学習・研究	ご近所交流講座(高齢者)、環境学習会、高齢者の栄養学講座(地域包括)、高齢者施設見学会、住まいのまちなみ先進地視察(春日井市)、自治会のクラウドファンディング、すまいのまちなみネットワーク総会参加
ふれあい親睦事業	春・秋公民分館スポーツ大会・文化祭、野畑地区夏祭り、野畑地区体育祭、さくらんぼ夏祭り、さくらんぼ餅つき大会、七夕笹祭り、お米クラブ

# 受賞を契機に新たに取り組んでいること

## 1. 広報活動

### 1) ホームページの更新

自治会活動をスマホ等からもアクセスできる桜自治会のホームページを開設し、今年度はそのデータの更新を行った。この1年で20数件の新築転入があり、HPを見て桜自治会に加入された事例もあった。またスマホの若年世帯向けにQRコードを設定してアクセスをやすくした。

### 2) ニュースレターの発行、自治会広報掲示板の増設

まちなみ委員会活動のPR版をニュースレター方式で自治会会員に周知している。これから、ニュースレター掲載の古の自治会写真などまちづくりのあゆみとして「桜自治会今昔」のアーカイブス編集の資料につなげていきたい。

このほか、会員数の増加に伴い周知ポスター掲示用の自治会広報板の増設を行った。

### 3) 顕彰掲示板のリニューアル

20数年前の旧景観協定締結時に記念の顕彰掲示板を設置したが、2017年にまちづくりのルールを自主協定から市の条例による「地区計画」及び「都市景観形成推進地区」に制度を改正したことと、2018年に住まいのまちなみ賞の受賞を記念して顕彰掲示板の書き換えを行った。工期は昨年度末から着手し、竣工検査を経てこの4月に出来上がった。

## 2. まちづくり活動

### 1) 住まいのまちなみ委員会の運営

住まいのまちなみコンクールの受賞を受け、まちづくり活動充実のため、自治会組織の補完として3年間限定で委員会を立ち上げた。2年目は委員構成を一部入れ替え、自治会役員会との連携を図った。委員会の所管は財団からの補助金事業活動に限定している。イベント月を除いて毎月第3土曜日を定例会として活動方針を決めている。

### 2) 会館開設10周年準備委員会の開設

市有地の無償貸与をうけ2010年に市の補助とともに、自治会会員の寄付により桜自治会・自治会館「さくらんぼ」を建設した。来年度はその10年の節目の年であるため記念事業を検討する。今後会館は防災対応等新たな課題に応じて使いがっのの良い施設に改修する必要がある、それらを含めて議論していくことにしている。

### 3) 建築確認申請事前協議制の研究

旧「景観協定」時代は、強制力はないものの建築事業者と建築確認申請の事前協議制であった。しかし市の条例化による「地区計画」になると、建築確認申請が市に1本化され、自治会には事後報告的になり、地域での騒音や工事車両のトラブル等、事案発生後に緊急対応する事態になっている。横浜市では「地域まちづくり推進条例」で地元団体との事前協議制が条例化されている。建築確認の事前協議制について横浜市を参考に研究会を始めた。市にも「事前協議制」の必要性を要望している。

### 4) 自治会活性化活動

豊中市では自治会組織率が40%近くまで低下し、地域のコミュニティ力が大幅に減少している。桜自治会では「まちづくり」をキーに活動しており、市に対し、横浜市条例では、地域で決めた「幅広いまちづくりルール」を市と協働で守るシステムとなっており、自治会活性化策として、これらを参考に住民が主体的に取り組む方策を提言している。

### 5) アーカイブス編集会議の検討

桜自治会はまちづくりをベースに活動しており、桜並木保全などで景観協定を進めてきた。自治会館も会員の寄付金で建設するなど参加意識は盛んである。これまでの活動の歴史を記録化することに取り組んでいる

### 6) 近隣自治会等との連携

受賞を契機に、金沢大学から「受賞後のまちづくり」についての交流会の他、千里コラボ大学や豊中青年会議所でのまちづくり講座、市役所のまちづくりセミナーなど地域の自治会と連携を進めるまちづくりの講演会により、桜自治会の活動を報告している。

## 3. 桜並木の保全

### 1) 腐朽桜の伐採協議の制度化

市道並木の保全について、市からは倒木の恐れのある桜の街路樹は伐採の提案があったが、桜並木は豊中百景にも選定された景観で、倒木リスクは認めつつも植え替えを前提に協議する方向で話し合いを続けている。ただ、残念ながら台風21号の影響で倒木被害が発生し伐採前提での協議となってしまった。今後伐採跡地への植樹方針を確認していく。

### 2) 桜並木植え替え協定締結の検討

桜並木の保全是自治会の長年の懸案で、桜の伐採の都度、市役所と自治会で協議をすることになっていたが、基本は市道の街路樹で地元の意向が十分反映できる状況にはなっていなかった。そこでこれまでの経緯を含め話し合いを重ねてきた内容を文書化することとし、協定案作成の協議を始めた。

#### 4. 環境・清掃活動

##### 1) 花いっぱい運動

地元小学校から1年生が育てたパンジーの提供を受け、自治会内の花壇や公園に移植したが、これから通学路沿いの道路をフラワーロードとして花いっぱい運動を展開するべく取り組みを始めた。

##### 2) 環境委員会の活動

従来の公園清掃業務や建築騒音対策、ゴミ置き場の近隣調整以外に本年9月から自治会の古紙回収を月1回から月2回に変更することによってリサイクルを増進し市の環境対策にも寄与している。桜の落ち葉清掃もご近所の迷惑を考慮し、落ち葉の散り始めの10月から毎週の一斉清掃を開始した。

#### 5. 安心・見守り活動

##### 1) 自主防災訓練

自治会の基本は地域の安全・見守りにある。顔見知りをつなぐことにより、いざという場合の緊急対応が可能となる。地域のお祭り等を通じて顔見知りを増やしているが、1年に1度とは言え震災本番の訓練は必須である。今年は避難通路の確認だけでなく、避難所開設訓練を行った。今後、袋小路での火災時の避難対応シミュレーション等事例に応じた緊急対応訓練を考えている。

##### 2) 福祉便利屋さん事業

シニア会懸案の「ご近所助け合い事業」はサービス提供のコーディネート部門が必置であったが、なかなか組織化できなかった。今回、市の社会福祉協議会からコーディネート部門の協力を得てボランティア募集を始めた。

##### 3) まちなかうオーク（ワンワンパトロール）

子どもたちの通学路の安全見守りと空き巣防犯などを兼ねた愛犬パトロールを警察官同道で日時を決めて巡回している。パトロール路は桜並木道を基本にプロムナードとして活用されているが、犬の糞尿による若桜木の枯死問題が並行課題である。今後、自治会設置の注意喚起の看板だけでは不十分で環境保全との両立に向けた取り組みを検討する。

#### 4) 空き家対策

高齢世帯の引越し後、子どもがリターンしない空き家が増える傾向にある。自治会としても緊急対応が必要な場合があり、自治会で空き家一覧を作成し、緊急連絡先などを記載した名簿に基づいて、防犯を兼ね見守り活動を続けている。空き家植栽の道路はみだしや野良猫対策など近隣対策にも対処している。

### 6. 学習・研究会の開催

#### 1) 住まいのまちなみ先進地視察

日ごろの忙しさに紛れてまちづくり意識が希薄化しているため、気持ちを改めまちなみ学習の機会としてバス視察を計画した。今年は同期で国土交通大臣賞を受賞された「春日井市押沢台北のブラブラまつり」実行委員会をおたずねし、自治会活動の情報をご教授いただいた。

桜自治会は桜をテーマにまちづくり活動をしてきたが、押沢台を参考に美術品・工芸品の展示・即売するまち全体丸ごと「ミュージアム構想」に結び付けたい。また花いっぱい運動との関連でオープンガーデンや空きスペースの駐車場活用、自治会内の人材資源の一覧表づくりと夢は膨らんでいる。

#### 2) 環境学習会

7月28日神戸芸工大の齊木学長にお願いし、まちづくりの基本を教わった。

旧舞子ゴルフ場跡地の「舞多聞」は地形や緑を活かした「自然住宅地」として開発され、その維持活動に取り組んでおられる。講義では先生のご指導で我が自治会の課題をポストイットで抽出しながらまちづくりの反省とニューガーデンシティ「舞多聞」コミュニティづくりの考え方を教わった。

特に自前での資金確保により自治会活動を進める新しい方向性や森林緑化税の活用などをご教示いただいた。近隣市が導入の緑化負担税制度（法定外税）も研究対象にしたい。

#### 3) 老人ホーム研究会

安心安全は防災だけでなく、老後の個人生活にも求められる。シニア会では暮らしよいまちづくりから、「終の棲家」としての自宅周辺環境づくりを考えている。老後の生活は今や有料ホームなどへの施設入所が中心になっているが、施設での暮らしなどと比較することで、どこまで自宅で頑張っているのか見極める力を養っている。

#### 4) 自治会のクラウドファンディング

自治会館は開設10周年を迎え、そろそろ改修計画の必要性が出てきた。建設時は自治会会員の厚意の寄付で建設した経緯がある。ただ今後は厚意にすぎる寄付だ

けでなく、積極的に自主的・参加型の募金や出資金などの資金集めが必要になってくる。そのため自治会でもクラウドファンディングによる資金集めなどに取り組むため、市役所の「出前講座」を活用してノウハウ取得のための研究会を始めた。

## 調査検討費の用途

- ・ 顕彰掲示板リニューアル
- ・ 環境学習会：講演依頼郵便、講師謝礼
- ・ 住まいのまちなみネットワーク総会出席交通費
- ・ バス視察：バス借り上げ、高速代
- ・ 名札・ストラップ
- ・ デジカメプリント

## 近い将来取り組まなければならない課題

### 1. 会館開設10周年記念事業

来年度会館開設10周年を迎え、コンクール受賞と合わせたセレモニー事業を検討する。

また、会館の機能追加として、地域の停電対策や震災対応など緊急避難施設機能を付加する施設改修計画を検討する。

### 2. 自治会活動記録（アーカイブスの編集）

まちづくりは先人の苦勞のたまものであり、まちの歴史が詰まっている。自治会の結成以来の歴代会長の苦勞話を聞きながら永楽荘が歩んできたまちの歴史を紐解きたいと計画し、聞き取りを開始した。

### 3. まちづくりの新たな制度検討

地区計画はまちの変遷に合わせて絶え間ない見直しが必要である。永楽荘桜自治会では「環境委員会」において地区計画の評価とともに、従来の景観形成協定では建築確認の前に自治会にも届け出が必要としていた。しかし地区計画等への制度改正に伴い、建築確認申請時に市が直接地区計画等への適合を確認するようになってからはまちなかの新築・改築の動きが自治会では把握できなくなっている。工事計画等の事前チェックとしてガイドラインに沿った内容になっているのか、また工事着工に際しては近隣生活への配慮や工事車両の安全性など法的規制だけではカバーされない課題を事前に自治会として調整することが必要である。そのため行政・開発事業者と事前調整を含めシステムづくりを検討していく。